

秋の火災予防運動

11月9日から11月15日

全国統一防火標語

守りたい 未来があるから 火の用心



女性防火クラブだより

発行所：岐阜市女性防火クラブ運営協議会事務局
〒500-0512 岐阜市東江寺町
2-4 岐阜市消防本部7階南
☎058-262-7163
令和6年11月1日号
(通算第51号)



十一月九日から十一月十五日までの間、全国一斉に秋の火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図るなどを目的に、毎年実施されるものです。今年度の統一防火標語は『**守りたい 未来があるから 火の用心**』です。

岐阜市消防本部では、岐阜市消防協会、岐阜市危険物安全協会及び岐阜市防火協会の協力を得て、火災予防啓発ポスターを約三千枚作成し、市内の関係機関、主要事業所などに配布して火災予防を呼びかけています。この機会に是非、あなたの家庭でも火災予防について考えてみましょう。

今年の火災概況

一月一日から六月三十日まで
の上半期、岐阜市内で発生した火災は五十六件で、前年の同時期と比較すると十一件減少となつています。

出火原因は、「電気関係」が最も多く十件、続いて「こんろ」と「放火・放火の疑い」が同件数で九件でした。

火災による死者は、発生しておらず、負傷者は、七人で前年の同時期と比較すると五人減少となりました。

最も多く発生した火災の種別は、**建物火災**で、三十九件発生しています。

火災による損害額は約三千八百八十八万円で、前年の同時期と比較すると一億二千三十九万円減少しました。

火災を無くして安全・安心な街をつくりましょう。

住宅防火のポイントを

みなさまのご家庭において、住宅防火のいのちを守る十のポイント（四つの習慣・六つの対策）を確認し、実践しましょう。

四つの習慣

○寝たばこは絶対にしない、させない。

○ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。

○こんろを使うときは火のそばを離れない。

○コンセントは、ほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

六つの対策

○火災の発生を防ぐために、ストップやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。

○火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、十年を目安に交換する。

○火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する。

○火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置し、使い方を確認しておく。

○お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。

○防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

各地区の女性防火クラブから

「鏡島女性防火クラブの活動」

鏡島女性防火クラブ

会長 後藤 幸

鏡島女性防火クラブは、昭和五十年に結成されました。鏡島自治会連合会に所属する「鏡島女性防火クラブ」として消防団の傘下で各種団体と連携しながら活動を行っています。

活動内容としては、指導員講習会に指導者の立場のクラブ員が参加し、クラブに知識を持ち帰り、クラブ員に対して研修することでクラブ全体の防火、防災力の向上を図っています。

また、地域の防災訓練にも参加しています。女性防火クラブは、アルファ米を使用した炊き出し訓練、水消火器を用いた初期消火訓練を担当し、参加者に指導しています。

日本赤十字社が主催する「段ボールベッド」の設営に関する研修会に参加しました。設営時の注意点を座学で学び、実際に設営訓練を実施しました。始めてことばかりで、わからないことも多かったのですが、この研修会で理解を深めることができました。能登半島地震では、発災直後、約四万人の方

が避難したと聞いております。避難所を迅速に開設するためには、みんなの協力が不可欠だと今回の研修会で感じました。

地域の防火、防災力の向上のために高齢者世帯に対して火災の被害を最小限にするため、住宅用消火器の設置や火災の発生を早期に見するため、寝室、階段室に住宅用火災警報器を設置するように地域住民に広報活動をしています。

また、岐阜市が設置している「街頭消火器」の設置場所の確認、有事の際に、どの消火器を使用するか等クラブ内で話し合いをしています。

近年では、集中豪雨や土砂災害等自然災害による被害が毎年のように全国各地で発生しています。岐阜市においても、南海トラフ巨大地震の被害が懸念されています。

災害は、いつ起こるかわかりません。災害による被害を軽減するためには「自助」「共助」が欠かせません。そのために、今後も各種団体と協力しながら様々な活動を実施していきます。

「梅林女性防火クラブの活動」

梅林女性防火クラブ

会長 吉田 侑記子

梅林女性防火クラブは、昭和五十二年に結成されました。

梅林女性防火クラブは、九十九名の方に梅林女性防火クラブ町内委員を担当していただき、そのうち、十九名がクラブ役員として主に活動をしております。

梅林地域は、東は、岐阜競輪場前から、西は、神田町通り手前までと、東西に長細い地域です。その間には、梅林公園や粕森公園などがあり、緑が豊かな街となっています。

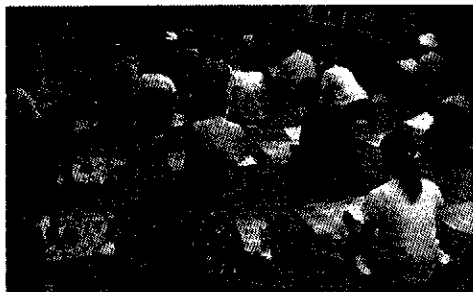
活動としましては、梅林自治会の行事や訓練には、積極的に参加しています。年に数回、地域の方を対象に中消防団梅林分団の協力を得ながら救急救命講習、防災のつどいを主催し、防火・防災に係る講習会を開催しています。また、梅林公民館の共催のもと火災発生時における通報訓練、避難訓練、消火器の取扱い訓練を行いました。参加者には、クラブが用意した防火に係る啓発物品を配布し、更なる火災予防意識向上のため、広報活動を併せて実施しています。

クラブの役員会開催時には、地

域に防火・防災知識を広げていけるよう、役員に対して炊き出し訓練、簡易テントの組み立て方法、人権講習会等の研修会を実施しています。

災害は、いつ起こるかわかりません。常に備える必要があります。一人ひとりが常に防火・防災を心がけることによつて、より安心・安全な街となります。

今後も自治会連合会と連携しながら、「自助」「共助」ができる梅林地域となるように、今後も皆様のご支援、ご協力を糧に、ますます啓発活動に努めてまいります。いと考えております。



救急救命講習会の様子